

尾長
会報

ともしび

地域で作る福祉の町

発行・文責 地区社協広報部

町内会加入世帯数 4,728 世帯

3年ぶりの総会

令和4年5月20日、尾長地区社会福祉協議会、
連合町内会合同総会が開催されました。



今年度は、サロンの「ひまわり会」が解散されるとのことで、38年もの長きに渡りお世話してくださった高木幸子代表に、尾長地区社協より感謝状を贈呈しました。高木代表からは、長年の思い出などのお話があり、参加者からは、敬意を込めたお疲れ様の拍手が送られました。

さて、いまだコロナの収束は見通し不明ですが、尾長地区社協では、ウィズコロナで今年度の活動を再開することを報告し、今後多くの行事・活動を無理なく見直しながら進めていくと説明しました。コロナ禍で2年間中止になっていた「高齢者ふれあいまつり」や「高齢者見守りネットワーク研修会」なども計画していく予定です。

また、昨年度実施した調査により、社協登録サロンや地域で活動されているサロンの実態が把握できました。今年度は、サロンへの支援の仕方などの見直しを目標に掲げて活動を進める予定です。

今年度も皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

尾長地区社会福祉協議会会長 石田三枝子

令和4年度総会を終えて

去る5月20日（金）3年ぶりに社会福祉協議会・連合町内会合同の総会を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染者が高止まりの状況が続いている中、多くの方々の来賓の御臨席をいただき、町内会、諸団体から約80名の方々のご出席をいただきました。

大変ありがとうございました。

この2年間、新型コロナ感染による「緊急事態宣言」「まん延防止措置」等により、社協・連町の行事の多くが中止となっています。今後は、新型コロナ感染に対する防止に万全を期すことはもちろんのこと、コロナとうまく付き合いながら、行事も工夫をしながら進めていく必要があると考えています。



一方、私たち町内会・自治会を取り巻く状況は、役員の高齢化、後継者不足、町内会加入率の低下等から非常に厳しい現実があります。こういった中、総会終了後に、松井広島市長自ら「地域コミュニティ活性化ビジョン」の講演会があり、町内会等へ行政から、ヒト、モノ等で支援を検討しているという心強いお話がありました。私たちも行政と連携して頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも町内会の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

尾長地区連合町内会会長 原田幹太



初動対応防災訓練（自主防）

5月22日（日）、尾長地区自主防災連絡協議会が、豪雨の発生に伴い、広島市からの「高齢者等避難」の発令を受けて、尾長小学校に「指定緊急避難場所」を設営するとの想定で初動対応防災訓練を実施しました。



『①何がどこにあるのか？ ②どうして組み立てるか？ ③どこに配置するか？』等、災害時に使用する、道具、施設、器具、備蓄用品などを、2班に分かれて、実際に動いて確認するといった具体的な訓練でした。

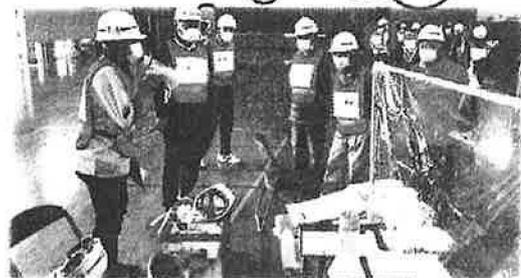
当日は、各町内会・自治会から約50名と東区地域おこし推進課から職員の方々が参加されました。

訓練を終えた方からは、「テントを張る練習をしたけど、写真を見ての実技は難しかったです。でも、いい経験になりました。年に1、2回こういう機会があったら良いと思います。」との感想を頂きました。

《実際に組み立てたもの》

- ①簡易テント
- ②エアベット
- ③大型扇風機

災害時の受付で注意するのは・・・



尾長青少協総会を終えて

5月28日（土）、2年ぶりに総会を27名の参加で行いました。

例年、議題後に小・中学校の様子をしっかりと話しをして頂きますが、今年度は参加者それぞれの立場から一言ずつ話して頂きました。

小学校の横断幕で「手を上げて運転手さんにごあいさつ」と呼びかけたり、毎日地域で子どもの安全を見守っているが、交通ルールの指導は家庭ですべきだとの意見がありました。



コロナ禍で、伝える事が出来なかった一人ひとりの率直な思いが聞け、コミュニケーションの大切さを改めて感じた時間でした。

尾長地区青少年健全育成連絡協議会

会長 小川 真由美

